



府中市教育長
平谷昭彦



南小学校PTA会長
松尾紀美



府中市長
小野申人



府中明郷学園
学校運営協議会会長
立石克昭

ちよーどいね 府中市！

新春特集
まちな教育地域企業
ゼーんぶ

われた。ここで初めて、「今の行事を増やさなくていいならできそうかな」という雰囲気になりました。それから、まず最初の行事をやろうというときに、府中明郷学園学区では、小学校が4校と中学校が2校、統合しているの、子どもたちが地域に帰り、各地域で行事をやりました。

ある地域では、子どもたちがバスから降りたら、「こんなに地域に子どもがおったんか」と声が聞こえて、みんなが拍手をしながら、「おかえり」と迎えてくれた。という話を聞いて、地域に学校がなくなっているというところは、本当に大きな穴があいたような寂しい思いをしておられると知りました。

小野 今ほどなことに取り組んでいきますか？
立石 今までは子どもたちが地域の行事に来てねと言っていたところを、子ども自身が企画を立てています。例えば、地元のお祭りでパーとか、敬老会の司会をするなど子どもたちが決

小野 明けましておめでとございます。今年もよろしくお願いたします。
一同 明けましておめでとございます。よろしくお願いたします。
小野 昨年7月には、府中では近年経験のない災害が起きてしまいましたが、今年はいい年にしたいですね。早速ですが、今日集まっていたいただいた方々の共通項といえば、コミュニティ・スクールですね。立石さんは、府中明郷学園学校運営協議会の会長をされています。
松尾さんは、南小学校PTA会長で、昨年11月末まで、学校運営協議会委員も務めていたでしていただきました。
平谷 まず、コミュニティ・スクールを一言で言えば、学校と保護者と地域が一緒になって子どもたちを育てようという取り組みです。地域は、学校教育に対していろいろな支援をしたり、実際に学校に行ったりします。学校は、授業だけではできない生きた教育ができる。取り組み内容は地域によ

小野 府中明郷学園が市内で一番最初に取り組みをはじめ、立ち上げのときから立石さんにはご協力いただきました。地域から見たコミュニティ・スクールは何かですか？
立石 今は立ち上がって5年経ちます。私も教育委員会から言われたときは、「何をやるんじやろうか」という思いで、よく分かっていませんでした。視察にも行ったんですが、これがいいピンとこず、それがさらに不安に拍車をかけてしまっていたときに、町内会長さんや呼んで説明会がありました。会長さんは、「もうこれ以上役を入れてくれるな」「学校には関わって意見がほとんどでしたよ。そこで、当時の教育委員会の課長は「行事を増やすのではなく、今ある行事に子どもたちが出て行って、地域の行事を活性化させる、地域づくりなんです。学校へ地域の人たちも入って子どもたちと一緒に育っていきましょ」と言